

脳神経医学セミナー (来聴歓迎・事前登録不要)

in vivo エレクトロポレーション
(i-GONAD法)による遺伝子改変動物の作製

高林秀次先生

浜松医科大学 光医学総合研究所

日時 2026年5月28日木曜日 午後5時～6時
場所 金沢大学宝町キャンパス 医学図書館2階十全スタジオ
<http://square.umin.ac.jp/top/map/med-lib.pdf>



近年のゲノム編集技術の進歩により、遺伝子改変動物の作製は大幅に簡便化された。i-GONAD法は、受精卵を体外へ取り出すことなく、卵管内の着床前受精卵へCas9/gRNA複合体をエレクトロポレーションで導入し、そのまま遺伝子改変動物を作製する手法である。従来法に比べ「安い・早い・簡単」が特徴で、高効率なKOやLoxP配列挿入、タグ配列の挿入、点変異導入などのKIにも対応可能である。本講演では、演者らが行ってきたi-GONAD法の改良法、さらにラット・ハムスターへの応用例について紹介する。

医学専攻・博士課程専攻共通up-to-dateセミナーおよび医学類選択科目・医学研究特設プログラム・最新医学研究・MRTプログラムセミナーに認定します。

問合せ 金沢大学 医学系 脳神経医学分野 河崎 洋志
kawasaki-labo@umin.ac.jp